

Two circular seals at the top left of the left page.

一物来名画

三浦下

曾 雨 色

新耕本



3016 6

Two circular seals at the top right of the right page.

三浦下

懐 遊

新の格



三浦下

3016 5



懐  
智

遊



深  
三  
河  
橋  
記



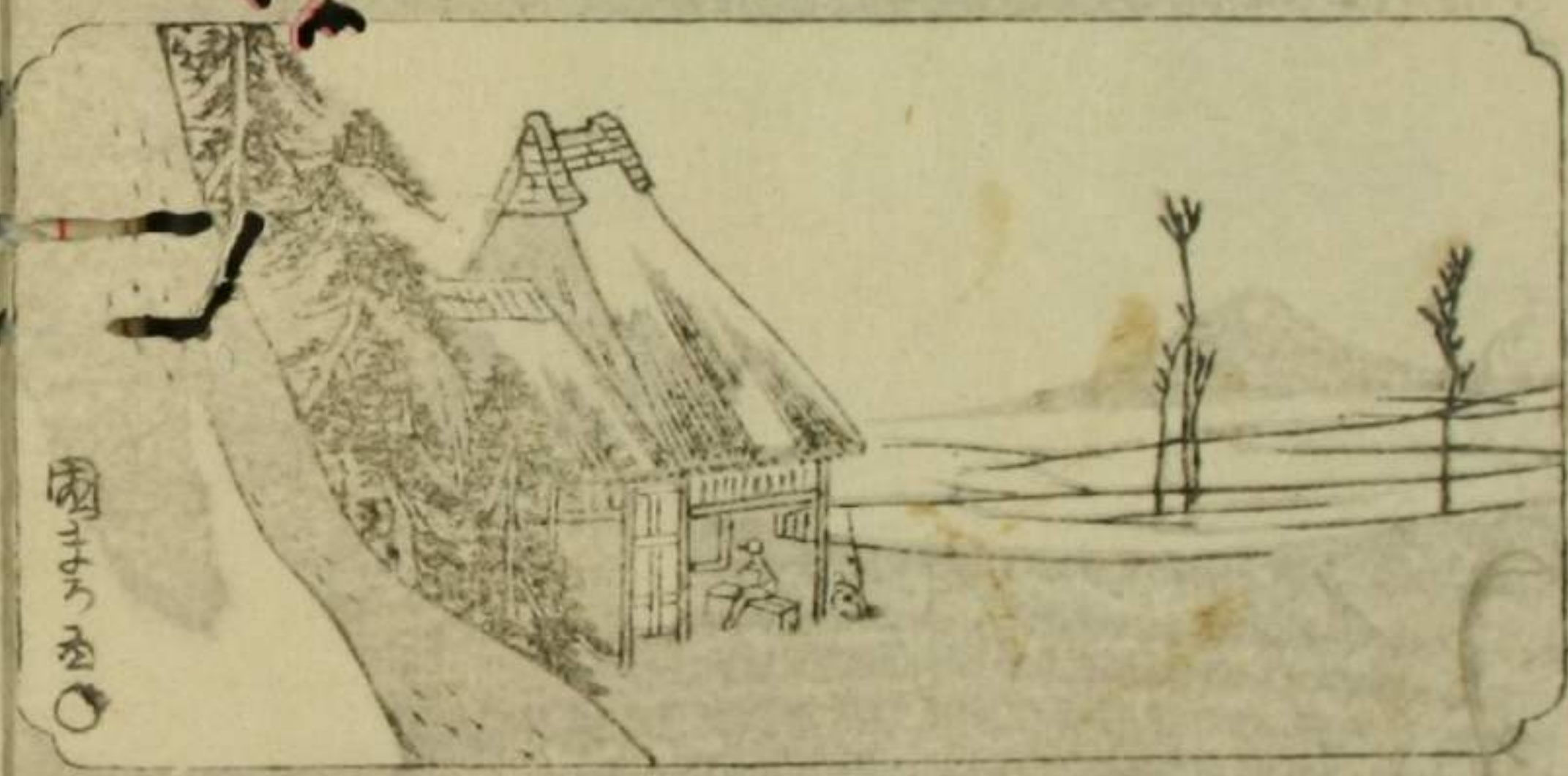
新  
神  
の  
橋

一  
橋

へ13  
3016  
5

3016

遊仙香  
春雨  
草紙  
三編上冊  
戊申新板



緑亭川柳作  
一陽齋豊國画  
板元馬喰町  
二丁目錦耕堂  
山口屋藤兵衛

遊仙水曰春雨草紙第三編  
唐の開元中、小龜茲國より一つの枕を元宗帝に献る其色瑪瑙の如し此枕は伏見十州三嶋四海五湖悉く夢中に見ゆ帝は遊仙窟張文成と名づると開元遺事に見えられと夫の似て名の遊仙窟張文成と十娘と夢を結ぶ枕を文を飭りて書されと夫と違ひ通ふ寐言の如く文体を現るまき又かきほて擬仙水と名づりて花も実もねきと女更らるる忠孝貞の身を惜まぬ義の一命を軽んぶ類ひ縁の小笹乃苟も勸懲の趣あれ作意の偽中の中も已一人虚と語りて数々の見立重の實を傳へ人を導く釣糸とらんと思ふ老婢安心彼鉄の斧と磨りて針おせんと言ふかるべし

弘化五戊申年孟春吉日

緑亭川柳記



か  
わ  
乃  
あ  
静  
の  
き  
や

三人のついでに... 雨のついでに... 春宵雨云... 三人のついでに... 雨のついでに... 春宵雨云... 三人のついでに... 雨のついでに... 春宵雨云...



ともしのついでに... 雨のついでに... 春宵雨云... ともしのついでに... 雨のついでに... 春宵雨云... ともしのついでに... 雨のついでに... 春宵雨云...



ついでとまふあふる... 春の雨... 雲の影... 花の影... 鳥の影... 虫の影... 人の影... 物の影... 心の影...



あつちの... 月... 影... 心... 物... 人... 虫... 鳥... 花... 雲... 雨... 春...

あつちの... 月... 影... 心... 物... 人... 虫... 鳥... 花... 雲... 雨... 春...



あつちの... 月... 影... 心... 物... 人... 虫... 鳥... 花... 雲... 雨... 春...



〇はらふのちのあつても  
 としあつてくつとあつても  
 上あつてのけつとあつても  
 二月のあつても三月のあつても  
 四月のあつても五月のあつても  
 六月のあつても七月のあつても  
 八月のあつても九月のあつても  
 十月のあつても十一月のあつても  
 十二月のあつても



〇はらふのちのあつても  
 としあつてくつとあつても  
 上あつてのけつとあつても  
 二月のあつても三月のあつても  
 四月のあつても五月のあつても  
 六月のあつても七月のあつても  
 八月のあつても九月のあつても  
 十月のあつても十一月のあつても  
 十二月のあつても

〇はらふのちのあつても  
 としあつてくつとあつても  
 上あつてのけつとあつても  
 二月のあつても三月のあつても  
 四月のあつても五月のあつても  
 六月のあつても七月のあつても  
 八月のあつても九月のあつても  
 十月のあつても十一月のあつても  
 十二月のあつても



〇はらふのちのあつても  
 としあつてくつとあつても  
 上あつてのけつとあつても  
 二月のあつても三月のあつても  
 四月のあつても五月のあつても  
 六月のあつても七月のあつても  
 八月のあつても九月のあつても  
 十月のあつても十一月のあつても  
 十二月のあつても









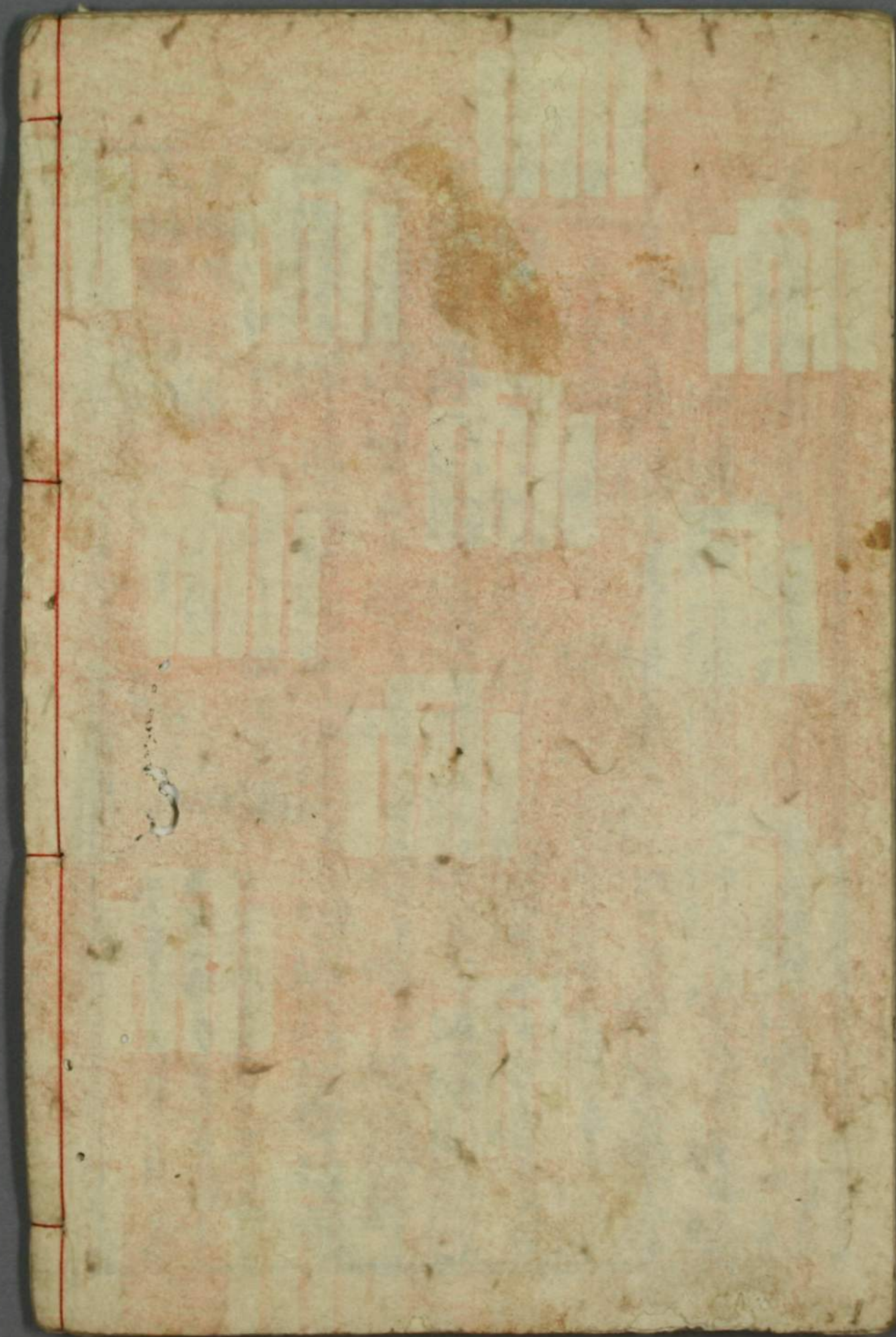


山  
 の  
 中  
 に  
 松  
 の  
 木  
 が  
 多  
 く  
 生  
 っ  
 て  
 居  
 る  
 所  
 だ  
 ら  
 ぬ  
 か  
 ら  
 ぬ  
 山  
 の  
 中  
 に  
 松  
 の  
 木  
 が  
 多  
 く  
 生  
 っ  
 て  
 居  
 る  
 所  
 だ  
 ら  
 ぬ  
 か  
 ら  
 ぬ  
 山  
 の  
 中  
 に  
 松  
 の  
 木  
 が  
 多  
 く  
 生  
 っ  
 て  
 居  
 る  
 所  
 だ  
 ら  
 ぬ  
 か  
 ら  
 ぬ



山  
 の  
 中  
 に  
 松  
 の  
 木  
 が  
 多  
 く  
 生  
 っ  
 て  
 居  
 る  
 所  
 だ  
 ら  
 ぬ  
 か  
 ら  
 ぬ  
 山  
 の  
 中  
 に  
 松  
 の  
 木  
 が  
 多  
 く  
 生  
 っ  
 て  
 居  
 る  
 所  
 だ  
 ら  
 ぬ  
 か  
 ら  
 ぬ







海雨香

一物之末乃國画

一三編下

新刊書録



13  
3016  
6











ついでにむら母のついでこのていつか  
 たるていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか

このていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか



このていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか

このていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか  
 のついでこのていつかのついでこのていつか

三

四



ついで  
ついで  
ついで  
ついで  
ついで  
ついで  
ついで  
ついで  
ついで  
ついで

甲 又...  
乙 又...  
丙 又...  
丁 又...  
戊 又...  
己 又...  
庚 又...  
辛 又...  
壬 又...  
癸 又...



あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて

甲  
乙  
丙  
丁  
戊  
己  
庚  
辛  
壬  
癸

あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて

ついでに... 月七日の...



あつち... たいさく...

あつち... たいさく... (bottom section text)

あつち... たいさく... (top section text)



あつち... たいさく... (middle section text)

あつち... たいさく... (bottom section text)

Vertical text on the right edge of the top page.

十五













英雄百人一首

綠亭川柳輯  
五蘭齋貞秀画

袋入 一冊

佳話の英雄豪傑千代の中小きりる多し又  
佳話の場をたてて縁下死顔の多し又  
さへ百人のちを集そのちを及別とる多し  
活をたててをたててをたててをたててをたてて

列女百人一首

綠亭川柳輯  
葛飾七老人画

袋入 一冊

昔より列女をたてての類多し又  
縁下をたてての類多し又  
さへ百人のちを集そのちを及別とる多し  
活をたててをたててをたててをたてて

掌書庭訓往來繪抄

寸珍本  
松陰堂書

早引消息節用集中本一冊

早引消息節用集中本一冊

女庭訓往來 袋入中本一冊

早解百人一首

見女子小解一書  
推して利ひは後  
七條新しむる

芥川玉叟庫

頭書女大學入  
大本一冊

御家一筆案文

寸珍本全一冊  
手形證文入

殺害後日怪談

曲亭馬琴作

早引大森節用集

懷中本一冊

遊仙水日春兩草紙

綠亭川柳作  
一陽齋豊國画

秀稚百人一首

袋入 一冊  
諸画工集筆

列女百人一首

袋入 一冊  
葛飾七老人画  
一陽齋豊國画

新編柳樽

全冊々  
初編より廿編と出表  
餘編近刻

英雄百人一首

袋入 一冊  
五雲亭貞秀画

東都書肆

版元 馬喰町二丁目  
山口屋藤兵衛

